平成28年度決算

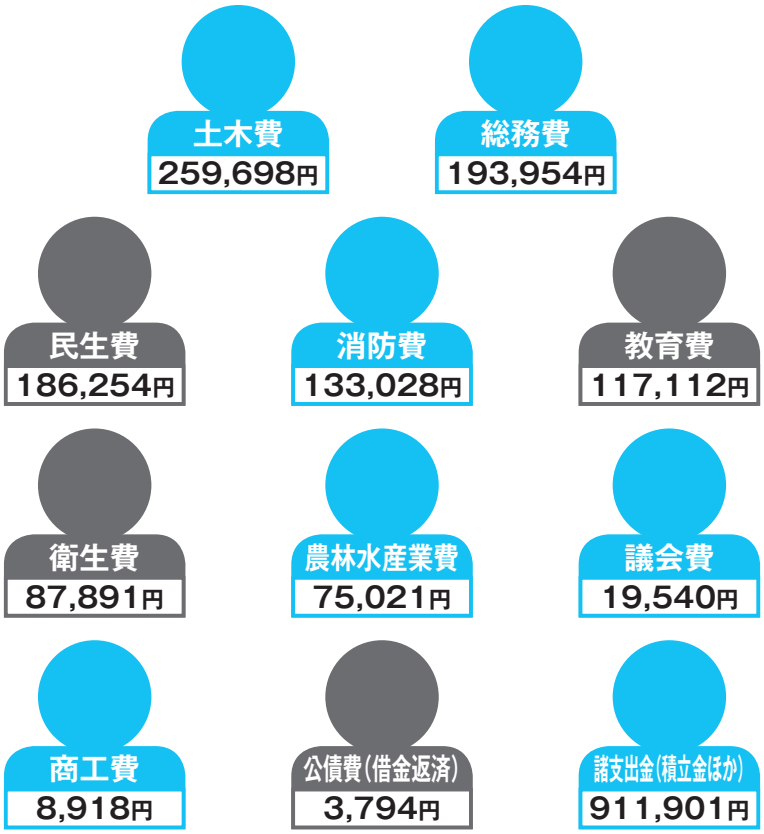
一般会計 特別会計 110億円を検証!!

新政成一時避難所

一般会計決算

歳入(財源)	98億　844万円
歳出(使いみち)	91億9,470万円
差引額	6億1,374万円

◆歳出総額91億9,470万円を村民(4,604人)1人あたりにすると… **199万7,111円**



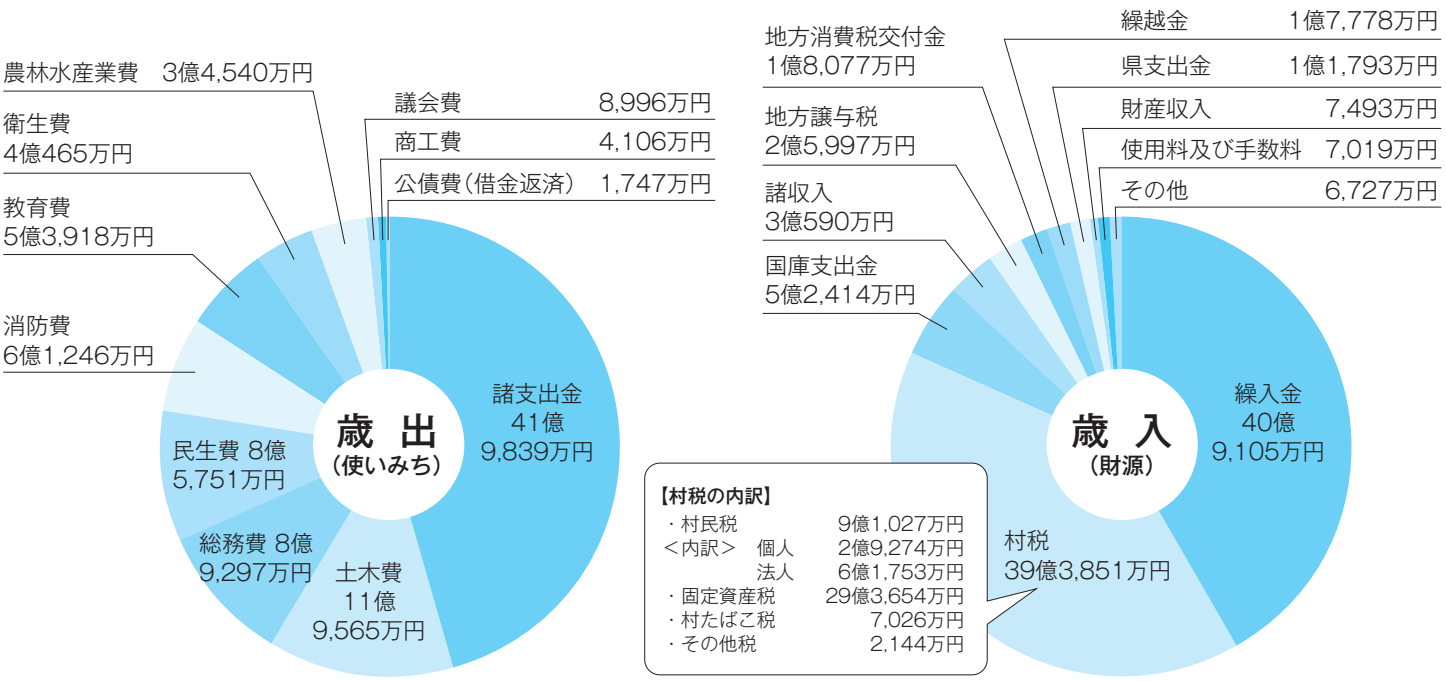
9月定例会のあらまし

9月定例会は、1日に招集され、21日までの21日間の会期で開かれました。

補正予算6件、平成28年度の会計決算7件の13議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・認定しました。

また最終日には、補正予算1件、物品の買入れ1件、工事請負契約の締結1件、人事案件1件、議員提案の意見書2件が追加提出され、いずれも原案のとおり可決・同意・採択しました。

一般質問は、会期14日目(9月14日)に6人が当面する村政の問題をただしました。



一般会計

質疑

問　公会計が変わることによってどういったところが変わってくるのか。

答　現在の決算書に加え発生主義に基づいた財務諸表を作ることにより、他市町村との財産上の比較も可能となります。

問　同報無線の工事はどういったことをやったのか。

答　同報無線の親局のデジタル化と新政成一時避難所の子局の整備です。

問　村内各所にある子局と家庭の防災ラジオはどうか。

答　子局は機器の更新をしデジタル化を進めます。戸別に配付した受信機はデジタル化の考えは今のところありません。

問　あいち電子自治体推進協議会への負担金は何のためか。飛島村への利益はあるのか。

答　この協議会は名古屋市を除く全団体で構成しており、研修や共同セキュリティ監査を実施しています。

問　社会福祉協議会への補助金が法人運営事業という部分で毎年ふえているがどういうことか。

答　職員がふえたことによる人件費の増だけでなく、それに伴う机やパソコン、車の購入費も含んでいます。

問　保育所の臨時職員が多いが保育士が不足しているのか。であれば正職員をふやすべきではないか。

答　正職員は基準に沿って満たしています。臨時職員は補助として各クラスに配置し、2人なり3人で保育指導をしています。

問　プールの招待券1万8000枚はどのように配付されているのか。

答　住民は1人1枚、企業へも従業員の割合に応じて配付しています。

問　企業の人はプールに来る人だけがたくさんもらっている感じで不公平に思うがそのあたりはどう考えているか。

答　企業へは会社に対して1人1枚という計算で渡しているので、平等という考え方に基づいていますが、検討はさせていただきたいと思います。

討論

反対…**鈴木義男議員**

避難所は費用対効果を考えると非常に無駄だと思う。建設費用の1割でも住民サービスに向けてはどうかと思い反対する。

賛成…**伊藤秀樹議員**

安心・安全・安定の村づくり推進に向け、事業計画に沿って適切に執行されており、今後も最良な事業の推進と予算執行を望み、村民の生活環境の向上に努力することを願い賛成する。

反対…**橋本　渉議員**

豊かな財政は、学校給食費の無料化や65歳以上の医療費の無料化を実施するなど、住民負担軽減を進めていくべきだと考え反対する。

（賛成7反対2で認定）

特別会計

決算額

（千円以下切り捨て）

会　計　名		歳入額	歳出額	差引額
国民健康保険		6億4,920万円	5億9,978万円	4,942万円
農業集落排水処理施設事業		3億9,846万円	3億9,428万円	418万円
土地取得		561万円	561万円	0円
介護保険	保険事業勘定	4億3,655万円	4億2,514万円	1,141万円
	サービス事業勘定	234万円	102万円	132万円
後期高齢者医療		6,415万円	6,322万円	93万円
宅地造成事業		3億3,770万円	3億3,770万円	0円

国民健康保険

質疑

問　基金への繰り入れがあってなおかつ黒字になり、28年度計算では約1億円弱の余裕が出てきている。黒字になるなら住民に返すのが本筋だと思うので、住民負担軽減のため保険料を下げることも考えてはどうか。

答　平成30年度からの広域化に伴い、現在標準保険料率を試算しているところです。確定してから今後の推計も含めお示ししたいと考えています。

討論

反対…**橋本　渉議員**

1億弱の余裕があり黒字になっているので、本来は住民に返すべきだと思う。保険料の値下げも考える必要があるのではないかと思い反対する。

賛成…**加藤光彦議員**

毎年増加傾向にある医療費と少子高齢化の社会情勢を鑑み財政確保に努めている。国民健康保険の広域化に備え堅実な国保財政を望み賛成する。

（賛成8反対1で認定）

農業集落排水処理施設事業

（全員賛成で認定）

土地取得

（全員賛成で認定）

介護保険

質疑

問　歳出には基金への繰出金もあり介護保険会計も黒字になっていると理解する。飛島村の介護保険料は県下で1番高く、上げ過ぎたと思うので県平均ぐらいで設定する必要があるのではないか。

答　現在第7期の介護保険計画を策定中でお示しできるものがそろっていませんので、保険料が上がるとも下がるとも言えない状況です。

討論

反対…**橋本　渉議員**

介護保険料は県下で1番高く住民の負担が大き過ぎる。もう少し値下げすべきだと思うので反対する。

賛成…**上田光彦議員**

高齢化が急速に進展する中、より一層介護予防事業を積極的に展開するとともに、介護保険制度の持続可能性を確保しながら適切な運営を図っていくことを願い賛成する。

（賛成8反対1で認定）

後期高齢者医療

討論

反対…**橋本　渉議員**

この会計は村では自由にならない会計ではあるが、この制度そのものが老人医療費の有料化のきっかけになっている。お年寄りの負担割合がふえていっている状況であるので反対する。

賛成…**服部康夫議員**

この会計は高齢者の保険料を広域連合に納付するための会計であり、高齢者が安心して医療を受けられるようにするための制度である。今後もふえ続ける高齢者医療費を国民すべてで支える保険事業のさらなる充実を願い賛成する。

（賛成8反対1で認定）

宅地造成事業

（全員賛成で認定）

基　　金　　名		平成28年度末現在高
財政調整基金	現　金　等	23億7,965万円
地域整備基金	現　金　等	58億8,325万円
減債基金	現　金　等	2,802万円
国民健康保険財政調整基金	現　金　等	7,588万円
人材育成基金	現　金　等	5億1,000万円
地域福祉振興基金	現　金　等	1億3,740万円
土地開発基金	不動産（土地　雑種地）	4,514.00㎡
	現　金　等	1億6,780万円
介護給付費準備基金	現　金　等	2,252万円
基金合計	現　金　等	92億452万円

監査委員の決算審査意見

平成29年7月18日から7月31日にかけて監査委員伊藤幹男氏、上田光彦氏により、決算審査が行われました。

一般会計、特別会計、土地開発基金の運用状況を審査した結果をまとめ、8月24日に意見書として村長に提出しました。

審査の結果および意見

平成28年度一般会計、特別会計の歳入歳出に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められました。また、基金の運用状況を示す書類の計数についても特に問題とする事項はありませんでした。

本年度は業務全般にわたって審査させていただきましたが、人事異動によって異動された担当者が多いにもかかわらず、監査業務の細部にわたり明確な説明を得ることができました。

歳入面においては、柱となる村税の徴収については収入確保に十分努力したものと認められますが、今後も引き続き所得の向上が遅々と進まない中で、収入未済額が増加することが懸念されることから、徴収率向上のため不断の努力を期待します。

歳出における不用額は、前年度と比較すると増加しており、執行に当たっては十分な検討を加えられ、予算の節約等考慮されたことと思われますが、今後とも予算計上・執行ともに十分留意されたい。

また、村の資産及び物品の管理については、良好の状態において管理するとともに、所要の目的に応じた効率的な運用及び使用に努めてください。

最後になりますが、第4次総合計画に掲げる「定住できる地域づくり」「子どもを生み育てたくなる地域づくり」「安心して生活・事業ができる地域づくり」を重点として、「私たちを育む村をみんなで育てる」の実現に向け、着実な施策の推進が図られることを要望して審査の結びとします。

審査意見より（要旨）

意見書を村長に手渡しする委員